

平成28年度

鈴鹿市子ども・子育て支援施策の実施状況について
(点検・評価)

平成29年5月26日

鈴鹿市子ども政策部子ども政策課

1 鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画について

本計画は、子ども・子育て支援法第61条第1項の規定に基づき、幼児期の学校教育・保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に提供するため、平成27年3月に策定したものです。

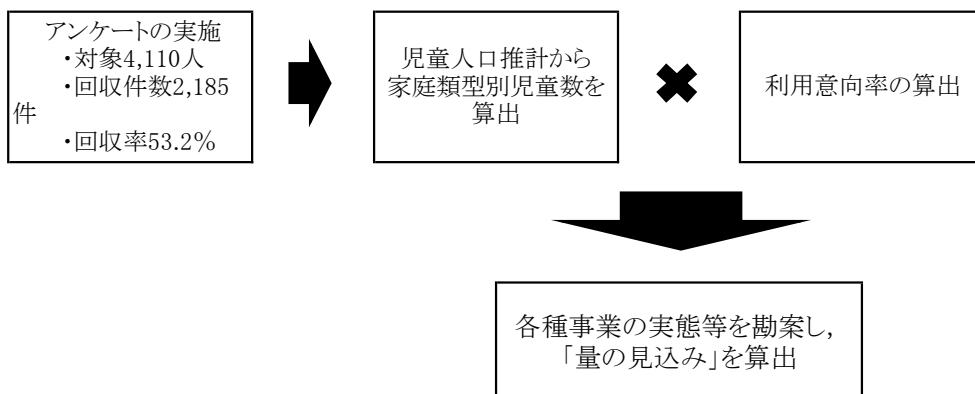
また、本計画に掲げる施策の推進を図るため、計画の実施状況について意見聴取を行い、計画的な進行管理と施策の改善を図ります。

本市では、市域全体を提供区域とし、経過期間である5年間の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保方策」を定めています。

- ◆ 基本理念 鈴鹿で育つ、鈴鹿の未来
～未来を担う子どもたちの健やかな育ちをめざして～

基 本 目 標	施 策 目 標
すべての子育て家庭をささえる支援の充実	家庭における子育てへの支援
	ひとり親家庭の子育てへの支援
	児童虐待防止対策の充実
	障がいのある子どもがいる家庭の子育てへの支援
	外国人の家庭への子育て支援
	働きながらの子育てへの支援
	子育て家庭をささえる相談・情報提供の充実
子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	教育・学習による子どもの成長への支援
	地域における交流等の充実
	子ども自身による主体的な参加への支援
	市民教育における次代の親としての成長への支援
	子ども自身の声を聞く相談の充実
親と子の健康づくりの推進	健康な子育てへの支援
安心して子育てができる地域環境づくりの推進	子どもの健康のための支援
	安全・安心な子育て環境づくり
	子どもを取り巻く有害環境対策の推進
	子育て支援についての意識づくり
	地域における子育て支援の充実
	仕事と生活の調和の実現

- ◆ 「量の見込み」の設定



※ 「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」(内閣府)に基づく。

◆ 子ども・子育て支援事業計画等に関する中間年の見直しについて

「教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の整備並びに子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針」（基本指針）



「支給認定を受けた保護者の認定区分ごとの人数が……認定区分に係る量の見込みと大きく乖離している場合には、……支給認定の状況を踏まえ、計画期間の中間年を目安として、必要な場合には、市町村子ども・子育て支援事業計画の見直しを行うこと。」



● 中間年の見直しのための考え方(作業の手引き)について

・見直しの要否基準

平成28年4月1日時点の支給認定区分ごとの子どもの実績値が、計画における量の見込みよりも

10%以上乖離がある場合(実績値／量の見込み $\leq$ 90%, 110% $\leq$ 実績値／量の見込み)

原則として見直しが必要。ただし、市町村の判断により、該当しない場合でも、見直しを行うことは差し支えない。

・要因分析及び補正

ア) 社会増減によるもの

最新の情勢(転入数－転出数)等を踏まえ、宅地開発や大規模マンションの建設等の増加要因や大規模災害などによる減少原因等を分析

今後の社会増減に影響を与える要因の有無を確認した上で、平成31年度までの見込みについて補正を行う。

イ) 自然増減によるもの

最新の情勢(出生数－死亡数)などを用い、必要に応じて親世代の社会増減などが自然増減に与える影響を加味し、平成31年度までの見込みについて補正する。

● 地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」の見直し

教育・保育の「量の見直し」に併せて、必要に応じ、地域子ども・子育て支援事業の見直しを行う。

● 今後のスケジュール（イメージ）

平成28年度

1月～ 市町村において、見直し方針を検討・策定（事務局検討）

平成29年度

4月 教育・保育の量の見込みの見直し作業（第16・17回会議）

～ 12月 教育・保育の確保方策等の見直し作業

冬 計画の改訂作業（第18回会議）

年度末 計画の見直し作業完了

2 教育・保育事業

(1) 平成28年度の実施体制

公立幼稚園	15園（うち2園は休園）
公私立保育所(園)	41園（公立10園, 私立31園）
私立幼稚園(未移行)	8園（私立8園）

(2) 入所(園)児数の状況(H27・H28)

実績値 各年度3月1日現在

支給認定区分		平成27年度				平成28年度			
		1号認定	2号認定	3号認定		1号認定	2号認定	3号認定	
		3～5歳	3～5歳	0歳	1, 2歳	3～5歳	3～5歳	0歳	1, 2歳
A	量の見込み	2,163	3,116	351	1,248	2,115	2,993	355	1,265
B	確保方策	2,977	3,143	353	1,254	2,848	3,178	363	1,289
C	差引(B-A)	814	27	2	6	733	185	8	24
D	実績値 (入園児数)								
	公立幼稚園	612				559			
	公立保育所		753	61	333		733	52	344
	私立保育園		2,135	366	1,202		2,076	395	1,224
	未移行の 私立幼稚園	1,708				1,630			
	小計	2,320	2,888	427	1,535	2,189	2,809	447	1,568
E	差引(A-D)	▲ 157	228	▲ 76	▲ 287	▲ 74	184	▲ 92	▲ 303
F	差引(B-D)	657	255	▲ 74	▲ 281	659	369	▲ 84	▲ 279

※ 広域受託含む

(実績内訳) 別表1参照

H28年度入所(在園)児童数(クラス年齢)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1号認定	541	542	544	546	544	551	549	552
2号認定	2,793	2,815	2,825	2,822	2,831	2,830	2,828	2,825
3号認定	1,635	1,726	1,780	1,824	1,867	1,913	1,947	1,964
未移行幼稚園	1,586	1,588	1,594	1,598	1,589	1,612	1,616	1,620
計	6,555	6,671	6,743	6,790	6,831	6,906	6,940	6,961

区分	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	558	558	557	559	6,601
2号認定	2,821	2,816	2,810	2,809	33,825
3号認定	1,976	1,993	2,002	2,015	22,642
未移行幼稚園	1,619	1,625	1,629	1,630	19,306
計	6,974	6,992	6,998	7,013	82,374

※広域受託含む

※未移行幼稚園は市内在園児数

(3) 今後の方向性

平成29年度については、私立幼稚園から2園、私立保育園から1園が、幼保連携型認定こども園へ移行したことで、保育が必要な子どもの受入れ枠の拡大を進めています。

しかし、保育所入園に必要な要件緩和や育児休業明けの保育需要の増大に伴い、特に低年齢児に関しては、弾力的な運用により対応しているのが現状です。今後も安定した受入れ枠の確保に向けて、定員拡大を図っていきます。

3 地域子ども・子育て支援事業

(1) 時間外保育事業（延長保育事業）

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、保育所、認定こども園等で保育する事業

ア) 平成28年度の実施体制

私立保育園30園で実施

イ) 実施状況

(人)

年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
平成27年度	2,223	2,223	1,877	▲ 346
平成28年度	2,188	2,188	1,700	▲ 488

(H28実績内訳)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
(延べ利用者数)	3,483	3,440	4,094	3,976	3,741	3,848	3,847	4,186

月	12月	1月	2月	3月	合 計
(延べ利用者数)	4,223	3,905	4,423	4,869	48,035

〔延長保育を利用した保護者の延長時間別の利用状況〕

区 分	割 合(%)
30分延長を利用	63.5
1時間延長を利用	28.4
1時間30分延長を利用	6.5
2時間以上延長を利用	1.6

〔延長保育利用割合〕 3/1現在

入所児童数	40,929
利用児童数	48,035
利用割合	117.4%

ウ) 今後の方向性

平成28年度において、延長保育事業を利用している保護者は依然として多く、当初の計画値や見込値とほぼ同程度の利用状況が続いています。ほとんどの私立保育園では、当該事業を実施していますが、平成29年度以降においても、事業を継続します。

(2) 一時預かり事業(一般型・幼稚園型)

- 一般型・・・保育園等で主として保育園等に通っていない又は在籍していない乳幼児を対象に
一時的に家庭での保育が困難な場合に一時的に預かる事業
- 幼稚園型・・・幼稚園又は認定こども園で、主として幼稚園等に在籍する満3歳以上の幼児で、
教育時間の前後又は長期休業期間等に当該幼稚園等において一時的に預かる事業

ア) 平成28年度の実施体制

一般型・・・・・・私立保育園10園で実施
公立保育所2園で実施
幼稚園型・・・私立幼稚園6園で、同様の事業(一時保育)を実施(私学助成対象事業)

イ) 実施状況

(人日)

一般型(その他)	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
平成27年度(10園)	3,631	3,631	11,070	7,439
平成28年度(10園)	3,601	3,601	9,943	6,342

(H28実績内訳) ただし、自主的实施園を除く

私立保育園	A施設	B施設	C施設	D施設	E施設	F施設	G施設	H施設
延べ利用者数	15	36	91	73	25	112	108	45
(実利用者数)	8	8	8	8	1	16	9	15

私立保育園	I施設	J施設
延べ利用者数	5,677	1,849
(実利用者数)	35	71

私立保育園	①合計
延べ利用者数	8,031
(実利用者数)	179

公立保育所	神戸保育所	河曲保育所	②合計
延べ利用者数	518	1,394	1,912
(実利用者数)	43	46	89

総 合 計 (①+②)	
延べ利用者数	9,943
(実利用者数)	268

ウ) 今後の方向性

平成28年度において、実利用者数及び延べ利用者数ともに、量の見込みを上回る利用状況です。
保育士の確保が困難である状況ですが、当該事業へのニーズは高く、私立保育園の協力を得ながら、
実施園の増加を図ります。

また、公立保育所においては、園舎建替等の際に実施園を増加するなど、事業の促進を図ります。
一方、一時預かり事業(幼稚園型)については、新制度へ移行していない私立幼稚園が、
今後新制度へ移行した際、サービス提供の低下とならないよう、事業実施の協力を依頼していきます。

(3) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余裕教室等で放課後に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業

ア) 平成28年度の実施体制

全小学校で実施（43施設）

イ) 実施状況

(人)

年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
平成27年度	1,546	1,546	1,628	82
平成28年度	1,560	1,560	1,818	258

(H28実績内訳)

小学校区	石薬師	桜島	神戸	白子	牧田	郡山	旭が丘	愛宕	飯野
クラブ数	2	3	2	1	2	2	3	2	1
利用者数	55	150	115	39	77	138	91	95	55
(地区児童数)	350	751	627	477	395	284	919	479	635

小学校区	明生	箕田	一ノ宮	深伊沢	長太	栄	椿	庄野	清和
クラブ数	1	1	2	1	1	1	1	1	1
利用者数	46	46	59	36	21	52	18	42	64
(地区児童数)	297	310	534	153	418	210	138	330	298

小学校区	井田川	国府	河曲	玉垣	若松	稲生	鼓ヶ浦	加佐登	鈴西
クラブ数	1	1	1	2	1	3	1	1	1
利用者数	29	43	64	93	46	146	33	44	44
(地区児童数)	161	371	606	769	362	758	165	342	254

小学校区	合川	庄内	天名	合 計
クラブ数	1	1	1	43
利用者数	24	31	22	1,818
(地区児童数)	66	89	96	11,644

※ 利用者数は、スポット会員を除く
 ※ 地区児童数は、平成28年4月1日現在の当該小学校区の児童総数

ウ) 今後の方向性

玉垣小学校区や飯野小学校区など一部の地域において、待機児童が発生しています。 「量の確保」だけでなく、各施設における「質の改善」も含め、対応が必要と考えます。放課後児童の安全・安心な生活を確保するため、既存施設の再活用や放課後児童支援員のスキルアップに向けた取組を検討していきます。

(4) 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業

ア) 平成28年度の実施体制

民間事業所・・・8施設

公共施設・・・2施設（子育て支援センターりんりん・ハーモニー）

イ) 実施状況

(人回)

年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
平成27年度	48,934(10箇所)	48,934(10箇所)	93,443(10箇所)	44,509
平成28年度	49,881(10箇所)	49,881(10箇所)	93,639(10箇所)	43,758

(H28実績内訳)

民間事業所	A	B	C	D	E	F	G	H
延べ利用者数	6,099	6,093	22,691	973	4,449	9,952	4,807	4,788
民間事業所	合 計							
延べ利用者数	59,852							

公 共	りんりん	ハーモニー	合 計	総 合 計
延べ利用者数	29,482	4,305	33,787	93,639

事案別件数（民間事業所）

援 助 内 容	累計件数	割合
1 しつけ、教育に関する相談	2,010	50%
2 子育てに関する相談	1,477	36%
3 経済的な問題など生活環境上の相談	291	7%
4 児童福祉に関する相談	37	1%
5 その他	234	6%
合 計	4,049	100%

ウ) 今後の方向性

平成28年度において、当該事業の利用見込者数を上回る利用実績となっています。そのため保護者等の多様なニーズに対応できるよう、現状の10箇所の実施を継続していきます。また、子育て応援サイト「きら鈴」などを活用し、市民への情報発信を積極的に推進します。

(5) ファミリー・サポート・センター事業

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業

ア) 平成28年度の実施体制

会員数 〔 依頼会員787人, 提供会員203人, 両方会員58人 〕

イ) 実施状況

(人日)

年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
平成27年度	5,233	5,233	4,235	▲ 998
平成28年度	5,118	5,118	3,701	▲ 1,417

(H28実績内訳)

援 助 内 容	累計件数	割合
1 保育施設の保育開始時や終了時の子どもの預かり	533	14%
2 保育施設等までの送迎	1,726	47%
3 放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	166	5%
4 学校の放課後の子どもの預かり	35	1%
5 冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	6	0%
6 買い物等外出の際の子どもの預かり	77	2%
7 その他	1,158	31%
基本事業 計	3,701	100%

ウ) 今後の方向性

平成28年度においては、見込みよりも若干少ない利用でした。しかし、生活様式の多様化等に伴い、一定の利用が見込まれる必要不可欠な事業であります。当該事業を充実させるためには、会員数の確保が重要となるため、会員確保に向けた取組を推進します。

(6) 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）

生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や
養育環境等の把握を行う事業

ア) 平成28年度の実施体制

訪問者〔民生児童委員、保健師、看護師〕により、必要な育児指導等を実施

イ) 実施状況

(人)

年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
平成27年度	1,817	1,817	1,639	▲ 178
平成28年度	1,800	1,800	1,582	▲ 218

(H28実績内訳)

小学校区	国府	明生	庄野	牧田	飯野	清和	加佐登	石薬師	井田川
対象者数	46	67	35	50	133	64	36	29	18
訪問件数	44	62	31	48	126	47	35	24	18

小学校区	鈴西	河曲	一ノ宮	神戸	長太	箕田	若松	玉垣	愛宕
対象者数	28	97	101	116	39	36	44	113	80
訪問件数	25	87	100	109	35	35	44	105	70

小学校区	旭が丘	稲生	桜島	白子	鼓ヶ浦	合川	天名	栄	郡山
対象者数	162	101	137	52	17	4	10	28	22
訪問件数	148	99	122	50	14	4	10	28	21

小学校区	椿	深伊沢	庄内	合 計
対象者数	12	20	13	1,710
訪問件数	12	16	13	1,582

ウ) 今後の方向性

少子化が急速に進行しているため、平成28年度において、見込みを下回る実績でした。

小学校区別の実績状況から、地域間格差があることが明白となっています。

地域の中で子どもが健やかに育成できるよう、事業を継続していきます。

(7) 妊婦健康診査事業

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、保健指導等を実施するとともに、妊婦期間中に必要に応じた医学的検査を実施する事業

ア) 平成28年度の実施体制

健康診査受診費用の一部公費負担により実施

イ) 実施状況

(人回)				
年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
平成27年度	23,400	23,400	20,684	▲ 2,716
平成28年度	23,200	23,200	19,843	▲ 3,357

(H28実績内訳)

妊娠届出数(対象者)	1,604人
健診回数／人	約 7.9回
実施場所	県内の医療機関等
検査項目	県及び医師会が定める健康診査内容

ウ) 今後の方向性

少子化により、妊娠届出数が減少し、それに伴い妊婦健康診査受診者も減少しております。

妊娠中の健康管理を行うためには、妊婦健康診査を受診することは重要なため、受診勧奨に努めます。

(8) 病児保育事業

病児について、病院等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を実施する事業

ア) 平成28年度の実施体制

鈴鹿病児施設 ハピールーム（白子クリニック内）

イ) 実施状況

(人日)

年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
平成27年度	1,052	1,052	935	▲ 117
平成28年度	1,044	1,044	935	▲ 109

(H28実績内訳)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用者数	73	73	85	88	83	72	93	72	70

月	1月	2月	3月	合 計
利用者数	63	108	55	935

ウ) 今後の方向性

利用者数の実績は、感染症の流行状況等により変動するが、ここ数年の利用者数は、年間900人前後を堅調に維持しているため、現状を維持していく。

(9) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

保護者の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について
児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業

ア) 平成28年度の実施体制

児童養護施設・乳児院

- ・鈴鹿里山学院（児童養護施設）
- ・里山学院（乳児院）
- ・エスペランス四日市（児童養護施設・乳児院）
- ・みどり自由学園（児童養護施設）

イ) 実施状況

(人日)

年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
平成27年度	117	117	296	179
平成28年度	115	115	179	64

(H28実績内訳)

援 助 内 容	累計件数	割合
1 レスパイトケア	19	40%
2 冠婚葬祭	6	13%
3 就労等	0	0%
4 本人の疾病等	4	8%
5 出産	3	6%
6 その他	16	33%
合 計	48	100%

ウ) 今後の方向性

平成28年度は、見込み数に達した。必要な家庭への紹介なども有効であったと思われる。
平成27年度の実績には届かなかったものの今後も、児童虐待の未然防止の側面もあることから、継続して事業を実施していく。

(10) 養育支援訪問事業

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことで、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業

ア) 平成28年度の実施体制

子ども家庭支援課所属の支援員が育児等の相談等を行うとともに、保健師や看護師が養育に関する相談・助言・指導(専門的相談支援)を実施

イ) 実施状況

(人)				
年度	A 量の見込み	B 確保方策	C 利用数(実績)	差引(C-B)
平成27年度	990	990	1,071	81
平成28年度	990	990	1,038	48

(H28実績内訳)

養育支援内容	累計件数	割合
1 様子・近況確認	4	1%
2 家事援助	37	7%
3 子どもの相手	25	5%
4 育児援助	9	2%
5 母の話相手	0	0%
6 相談	424	85%
7 その他	0	0%
合 計	499	100%

ウ) 今後の方向性

今後の社会情勢から、養育困難家庭が増加することが想定されるため、今後も継続して事業を実施していく。